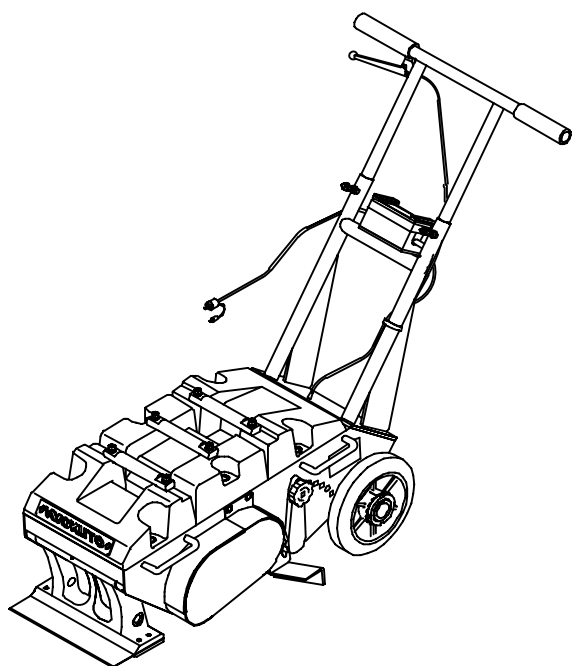




A99-H292-01



超強力床材剥がし機

パワフルペッカー

型式 SM-17型

取扱説明書

安全にお使い頂くために、ご使用前
に必ずお読み下さい

この度は超強力床材剥がし機「パワフルペッカー」
をお買い上げ頂きありがとうございます。
この取扱説明書は本製品を安全にお使い頂くための
事柄を記載しています。ご使用前に本書を最後まで
よくお読みの上、正しくお使い下さい。
また、本書はいつでも利用できるよう大切に保管し
て下さい。



お使いになる前に

本機をご使用になる前に、本体の他、下記の付属品などが揃っていることをご確認ください。

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------------|
| • 剥がし機本体 | • グリスポンプ | • 六角レンチ（8mm） |
| • 取扱説明書（本書） | • 刃物カバー | • 両口スパナ（13mm×17mm） |
| • インテリア機器登録カード | • 工具袋 | • T型ボックスレンチ（13mm） |
| • 刃物/普通刃 270mm | • ドライバー（+） | • 刃物継ピース（小3個） |
| • 刃物/シート刃 280mm | • スパナ | |
| • 刃物/強力刃 | • 六角レンチ（5mm） | |
| • グリス | • 六角レンチ（6mm） | |

品質には万全を期しておりますが、万一、不足や運送中の破損等があった場合は、速やかに弊社までご連絡下さい。

目 次

安全上のご注意	1～3
全体外観図及び各部名称	4
作業準備	
作業前確認	5
ハンドル調整	5
移動時・運搬時の操作方法	6
吊り上げ運搬方法	7
スイッチ操作の注意事項	8
刃物の取付	9
刃物の角度調整	9～10
スリーパーの角度調整	10
床材剥がし作業要領	11
保守点検	
刃物の研磨	12
継ぎピースのセット	12
刃物用ベルトの調整と取り替え	13
走行用ベルトの調整と取り替え	13
グリスの給脂	14
クラッチ調節方法	14
過負荷遮断機構	15
トラブルチェックリスト	
刃物が動かない	16
走行しない	17
仕 様	18

安全上のご注意

パワフルペッカーをご使用頂くには、正しい取扱いと定期的な保守・点検が不可欠です。以下の一般取扱注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで床材の剥がし作業は行わないで下さい。

この取扱説明書では、取扱いを誤った場合に発生が予想される危害・損害に対する注意事項を、その程度により[警告][注意][メモ]という項目に分類して表示しています。

- ・ [警告] ……この表示を無視して誤った取扱いを行うと、重大な事故につながるおそれのある注意事項を示しています。
- ・ [注意] ……この表示を無視して誤った取扱いを行うと、機械の破損・故障につながるおそれのある注意事項を示しています。
- ・ [メモ] ……これを知っておくと便利という補足事項を示しています。

運搬時



搬入・搬出および移動時は必ず刃物を外して下さい。



車への積み降ろしは、ウェイトを外し、必ず大人2名以上で行って下さい。
また、調整ハンドルを持つの積み降ろしは行わないで下さい。
万一、調整ハンドルが抜けた場合に危険です。

保管時



水平な場所に保管して下さい。



保管時は必ず刃物を外して下さい。



高温・多湿な場所に保管しないで下さい。



刃物カバーのある刃物は、必ず刃先に刃物カバーを取り付けて、布袋・箱等に入れ保管して下さい。

安全上のご注意

作業時



警告

本機はAC100V用です。
AC100V以外の電源では使用しないで下さい。



警告

煙が出ている、変なにおいがする等の異常状態のまま使用すると、
火災・感電の原因となります。すぐ機械本体の電源スイッチを切り、
必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



警告

作業時は本機の上に人が乗ったり、刃物前方での作業を行わないで
下さい。



漏電・感電防止のため、乾燥したところ以外での使用はしないで
下さい。
また、機械に水をかけないで下さい。



警告

振動による故障防止のため、配線接続部の劣化がないか定期的に
確認を行って下さい。
断線した場合、感電事故に至る危険性があります。



警告

作業によっては、粉塵が多く発生することがあります。
その場合には、防塵マスク・防塵めがね等の保護具を着用して
下さい。



警告

定期的に適度なグリスアップを行って下さい。
グリスは付属品又はリチウム系グリス#0を使用下さい。
(P14参照)



警告

ケーブルを延長する場合は、公称断面積 2mm^2 (2sq) 以上のものを
専用でご使用下さい。延長する長さは、10m以内にして下さい。



警告

発電機を使用する場合は、4.5KVA以上の電源容量のあるもの
を使用して下さい。
昇圧器を使用する場合は、15A以上のものを使用して下さい。

その他



警告

床材の剥がし作業以外の時は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。



電源プラグを抜く際は、電源コードを引っ張らないで下さい。
コードが傷つき、断線・火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグ部分を持って抜いて下さい。



注意

各部のネジは、定期的に増し締めを行って下さい。

全体外観図及び各部名称

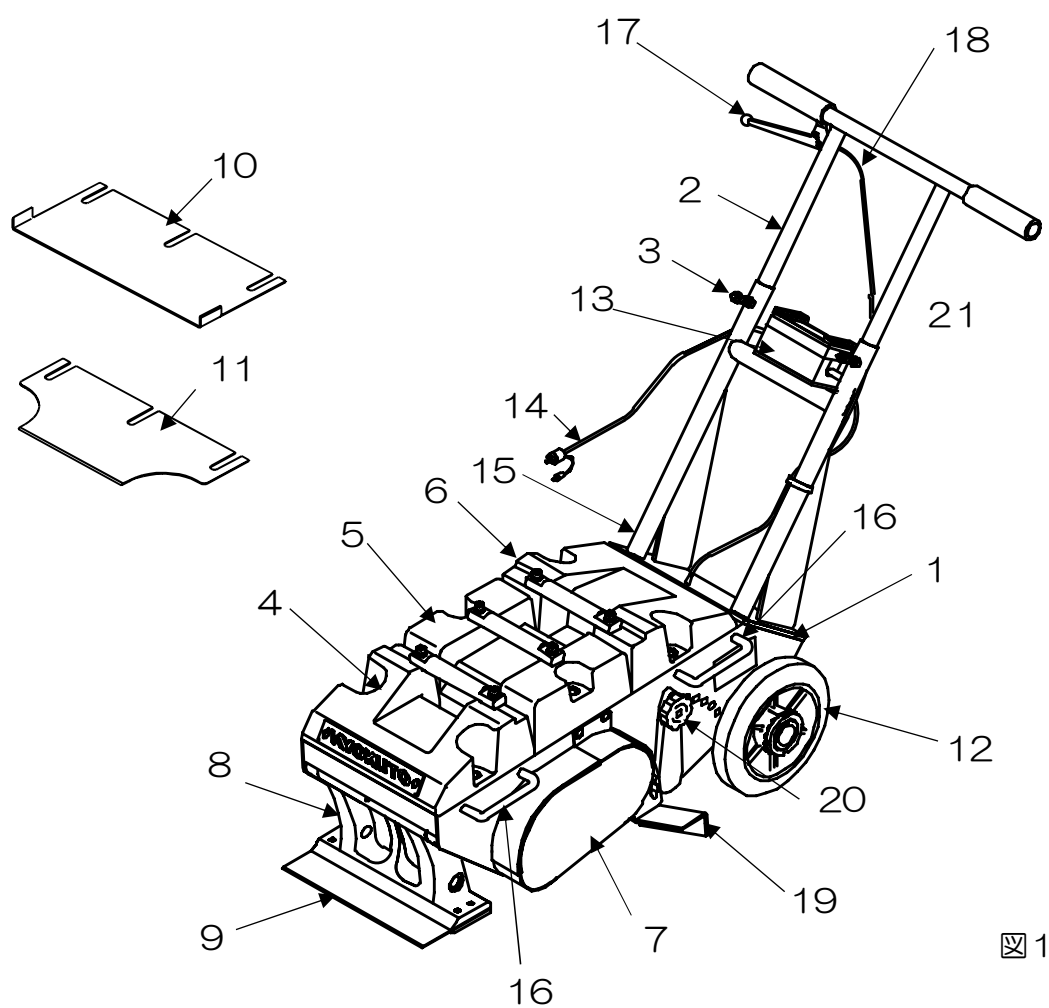


図1

- | No. | 名称 |
|-----|--------------|
| 1. | 本体 |
| 2. | 調整ハンドル |
| 3. | ハンドル調整ボルト |
| 4. | ウエイト 1 |
| 5. | ウエイト 2 |
| 6. | ウエイト 3 |
| 7. | ベルトカバー |
| 8. | 刃物ブラケット |
| 9. | 普通刃 |
| 10. | シート刃 |
| 11. | 強力刃 |
| 12. | 走行車輪 |
| 13. | スイッチ |
| 14. | 電源プラグ (アース付) |

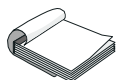
- | No. | 名称 |
|-----|---------|
| 15. | 固定ハンドル |
| 16. | 取手 |
| 17. | クラッチレバー |
| 18. | ワイヤー |
| 19. | スパー |
| 20. | 角度調整ノブ |
| 21. | スイッチ押え |

作業準備

作業前確認

作業前には必ず下記の点を確認の上ご使用下さい。

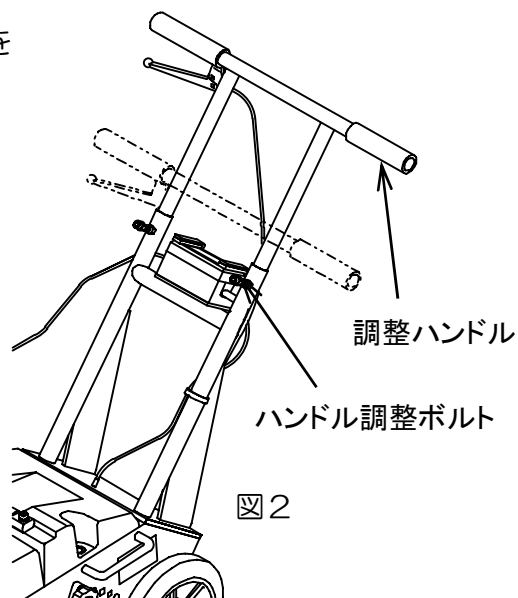
- ◇AC100V、15A以上の電源が確保できる工事現場であること。
- ◇刃物部分がきれいに研がれていること。
- ◇グリスが十分に給脂されていること。
- ◇ベルトの張り具合が適当であること。
- ◇各部の取付ネジに緩みがないこと。



壁際やコーナー・階段等は「コンパクトペッカー」またはチーゼルワイス等と合わせてご使用頂くとより効率よく作業できます。

ハンドル調整

- [1] ハンドル調整ボルトを緩め、調整ハンドルを適当な位置に引き出して下さい。
- [2] ハンドル調整ボルトを締め込み、調整ハンドルをしっかりと固定して下さい。

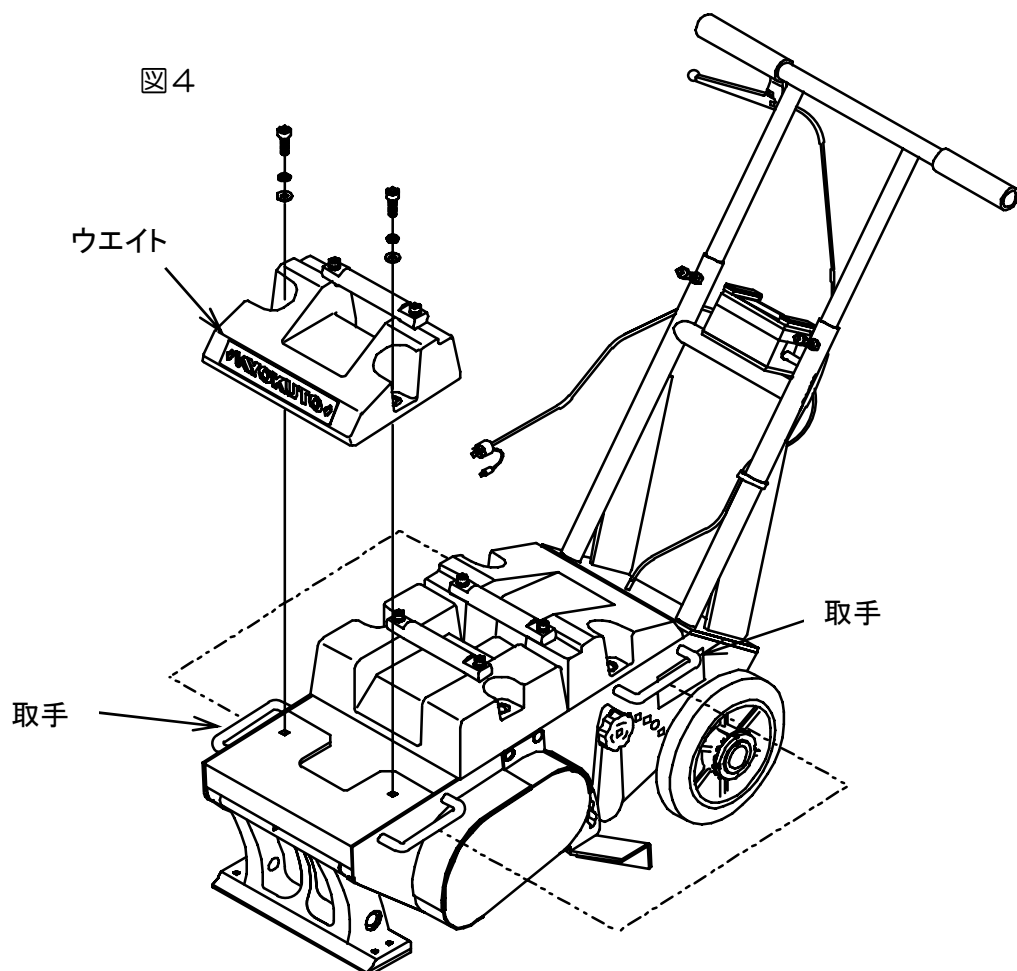
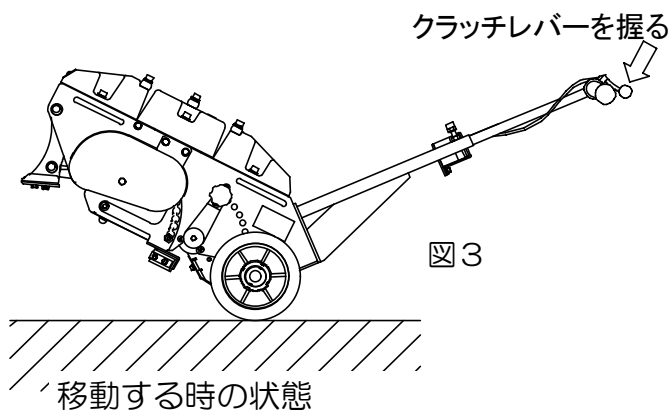


警告

ハンドル調整ボルトは、きつく締め付けて下さい。
また、作業中も緩んでいないか時々確認しながら使用して下さい。

移動時・運搬時の操作方法

- [1] 移動の際は、スイッチがOFFになっているか確認して（図3参照）のように刃先を浮かせてクラッチレバーを握りクラッチを切って移動して下さい。
- [2] 車への積み降ろしや、運搬の際は、ウエイトを取り外して、大人2人以上で積み降ろしを行って下さい。（図4参照）



積み降ろしの仕方

作業準備

吊り上げ運搬方法

本機には市販の吊り金具を取付けられる穴が、ウエイト2にあります。

【奨励ネジ仕様】

- ◇ネジサイズ：M16
- ◇固定ネジ：六角ボルトM16×35
- ◇材質：鉄またはステンレス
- ◇耐荷重：200kg以上



吊り金具を取付ける時は必ず座金を一緒に使用して下さい。
また、ウエイト等の固定ネジにゆるみがないか確認して下さい。
ゆるんでいる時は締め付けて下さい。

[1] ウエイト2を取外し、固定ネジ・座金で吊り金具を固定して下さい。（図5参照）

[2] ウエイトを本体にしっかりと固定して下さい。

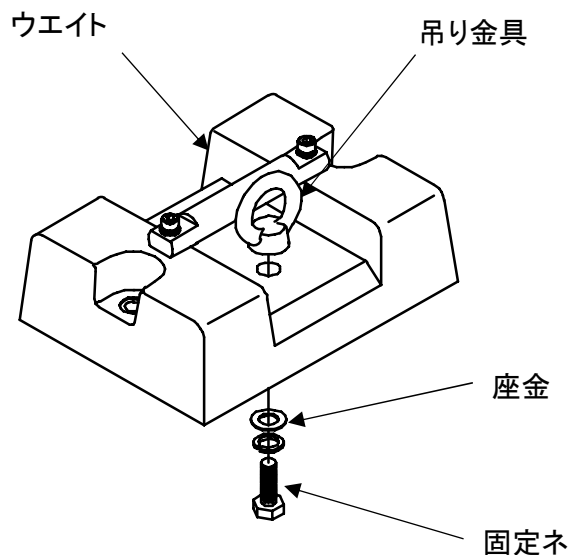
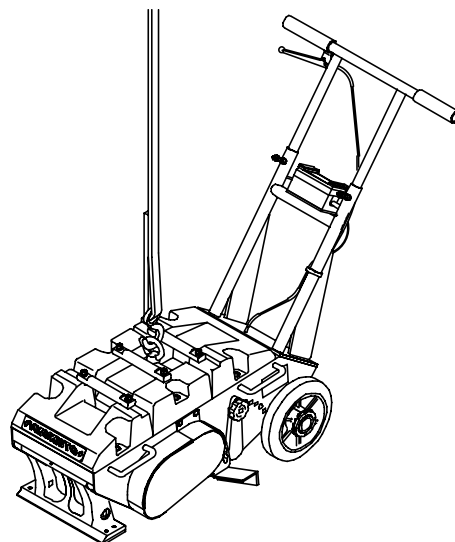


図5



吊り上げイメージ図



吊り上げられている本機の下には絶対に入らないで下さい。



吊り具を吊りフック以外の場所に掛けたりすると機械が破損する恐れがあります。また吊り上げた時、機械が回らない様に注意して下さい。

スイッチ操作の注意事項

床材剥がしのスイッチ操作については、刃先を床より浮かせて、クラッチレバーを握り（図6参照）、スイッチをONにし刃先の振動が一定状態になった事を音や目視で確認し、刃先をゆっくり床に押し付けて行き、クラッチレバーを徐々に放していきます。（図7参照）

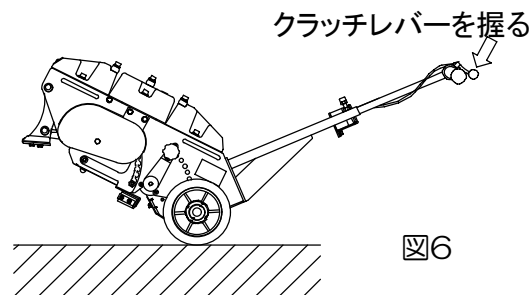


図6

このときに機械が、振動により後退してくる事がありますので、後退してこないように片足を固定ハンドルの締め付けナット（袋ナット）付近に置いて、突っ張りながら刃物を床に押し付けると後退を抑えられます。（図8参照）

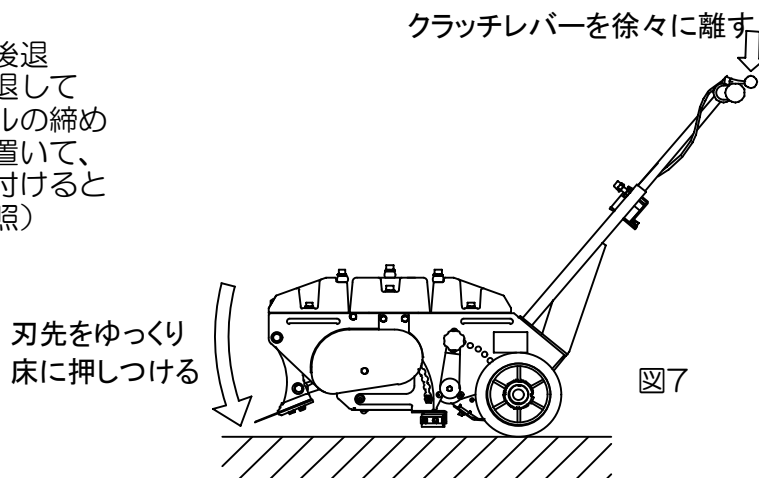


図7

速度調整はクラッチレバーの握り加減を調節して半クラッチを上手に使うことで速度の調整をして下さい。
（少し走行させて半クラッチの状態を見極めて下さい。）

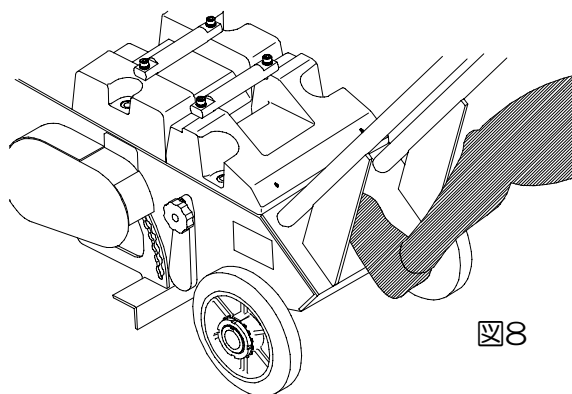


図8



注意

モーターに何らかの過負荷がかかっている場合や工事現場の電圧が低下している場合には過負荷遮断機構が作動する事があります。

過負荷遮断機構が作動している場合は15頁に記載の要領で復帰させて下さい。

- ・ 過負荷がかかっている場合は、過負荷の原因を取り除いてから、再使用して下さい。
- ・ 電圧が低下している場合は、昇圧器で適正な電圧に昇圧して下さい。コードリールや延長コード等を使用している場合は、電圧が低下する事がありますのでご注意下さい。

刃物の取付

- 〔1〕 刃先を浮かせて下さい。
(図9参照)



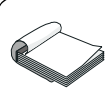
ハンドルを人がしっかりと
支えて下さい。

- 〔2〕 刃物の研磨面を上向きに奥まで差込みます。(図10参照)

- 〔3〕 締め付けボルトを締め込みます。



刃物は奥まで差込み
ボルトは強く締めて下さい。



磨耗して短くなった
刃物は、継ぎピースを
使用してください。(11頁参照)

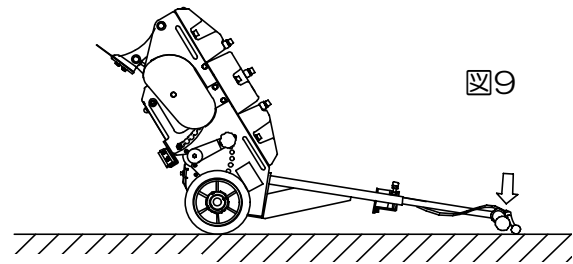


図9

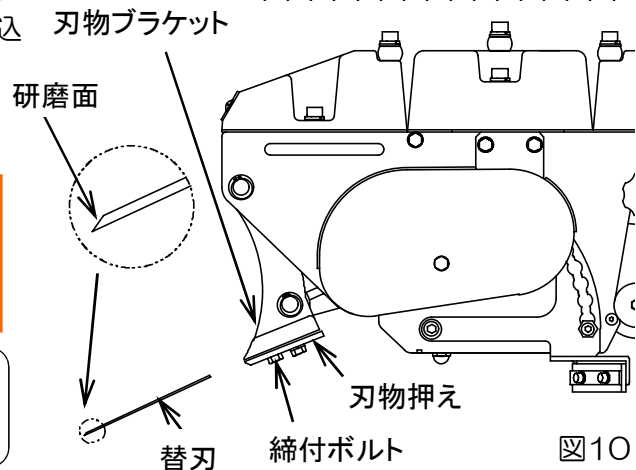


図10

刃物の角度調整

刃物の角度調整には2通りの方法があります。

方法1

- 〔1〕 本体を横に寝かせて下さい。
(図11参照)
- 〔2〕 角度調整ノブを矢印の方向に引っ張り、
90度回して下さい。
- 〔3〕 本体を反対向きに寝かせ角度調整ノブを
引っ張りながらもう片方の手で車輪を持ち
セット穴に入れます。(図12参照)
- 〔4〕 もう一度本体を反対向きに寝かせ
角度調整ノブをセット穴に入れ
完了です。

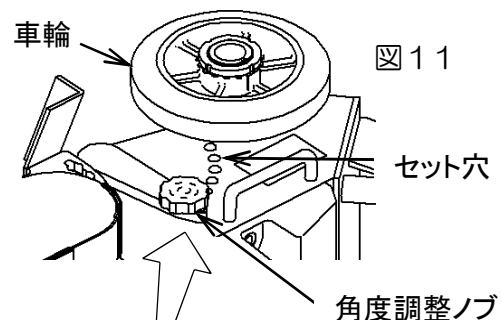


図11

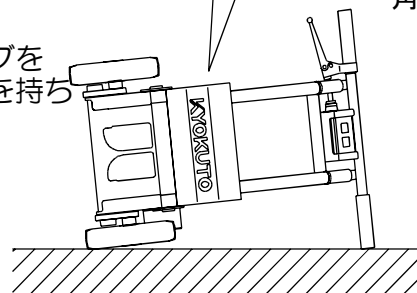


図12



本体を横に向けるときは、
足元に機械が落下しないように
充分注意して下さい。

作業準備

方法2

〔1〕 本体を起こして下さい。（図13参照）



本体を起こして作業をするときに、
ハンドルを人が支えるなどして
本体が転倒しないようにして下さい

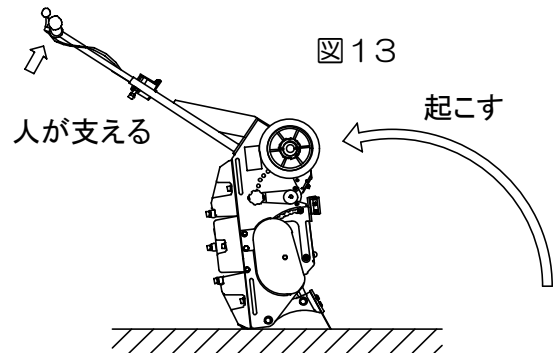


図13

〔2〕 ギヤ部分が落ちてこないように手でしっかりと支えながら、左右の角度調整ノブを引っ張って90度回して下さい。（図14参照）

〔3〕 ギヤ部分を動かして、設定したい角度に合わせた後に、左右の角度調整ノブをセット穴に入れて下さい。

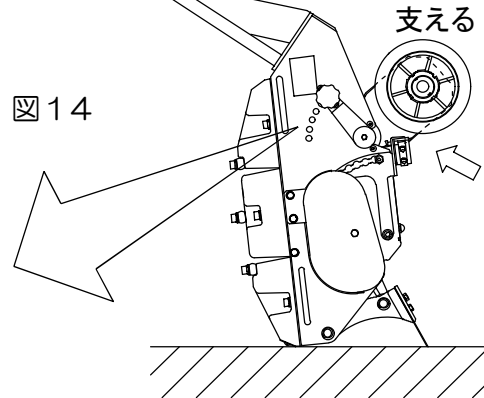
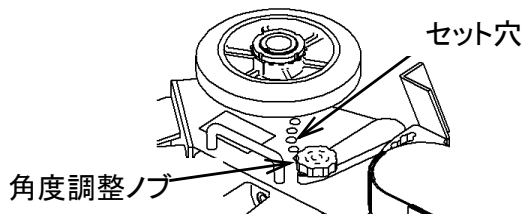


図14

スィーパーの角度調整

〔1〕 床材剥がし作業を行う場合、刃先角度を決めた後、スィーパーの角度調整を行います。まず、ストッパーを工具（六角棒レンチ6mm）を使って緩めスィーパーが床面に当たるように下げて固定して下さい。（図15参照）スィーパーのゴム部分が床面に当たらない時はゴム板部分だけ調整して床面に当たるように調整して下さい。



作業中に刃先角度を変える場合は、必ずスィーパーを一番上まで上げた状態にしてから刃先の角度変更を行い、その後スィーパーも再調整して下さい

〔2〕 移動・保管の場合は、スィーパーを一番上に上げた状態にして下さい。

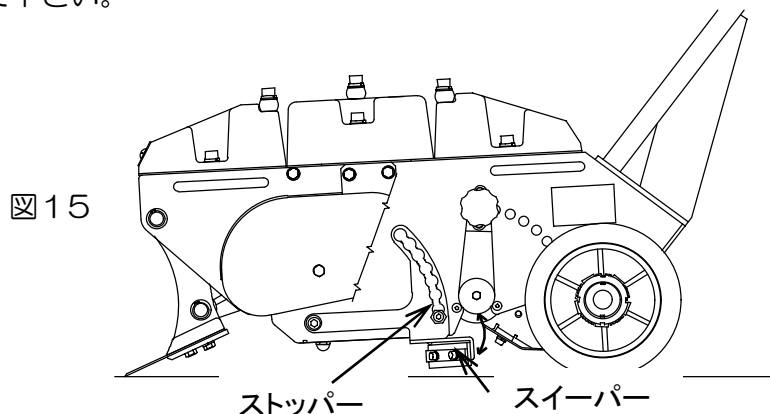
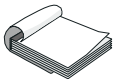


図15

床材剥がし作業要領

- [1] AC100V-15A以上のコンセントにプラグを差込みます。
必ず、アースも接続して下さい。
- [2] 刃物を浮かした状態でスイッチをONにし、刃物の動きがスムーズになった後、
ゆっくりと刃物を床面の中に食い込ませた状態にします。
食い込んでいない場合は、刃物の角度調整（9,10頁参照）によって調整して下さい。

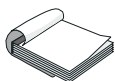


あらかじめ刃物の当たる床面を、
少し剥がしておくにより速く作業が行えます。



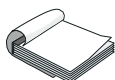
刃物が床面に接した状態で刃物スイッチをONにしますと本体が
後退してくることがありますので、必ず、刃物を浮かした状態で
刃物スイッチをONにして下さい。

- [3] 調整終了後、床材の剥がれ具合を見ながら、前方に押して行きます。
- [4] 床材下地に食い込んだりするときは刃物の角度調整（9、10頁参照）によって
再調整し床材の剥がれ具合を見ながら、前方に押して行きます。
- [5] 作業中どうしても剥がれない所がある場合は、片足を固定ハンドルの締め付けナット
（袋ナット）付近に置いて少し押して下さい。（8頁参照）
又、強力刃に交換して剥がしてみてください。
- [6] 走行の停止はクラッチレバーでクラッチの接続を切り、停止させてから電源スイッチ
でOFFにして下さい。
- [7] 床材の剥がれ具合が悪くなったら、刃物の研磨要領に従って研磨した刃物に取り替える
か、本体に刃物を取り付けたまま刃物の研磨要領に従って再研磨して下さい。



本機には普通刃の他に2種類の刃物があります。床材の種類、床下地の状況、
接着の度合いに合わせて刃物を使い分ければ、より効果的に作業ができます。

普通刃 : 一般的な床材剥がしに適しています。
シート刃 : CFシート等の長尺床材剥がしに適しています。（サイド刃付き）
強力刃 : 頑固に接着している床材剥がしに適しています。



下地がコンパネ等の場合は、新しい刃物で剥がすと下地にまで
食い込むことがあります。その場合には、あらかじめ刃先を
コンクリート下地の部分で少し動かし刃先部を少し磨滅させて、
下地に食い込まないようにして作業して下さい。

保守点検

刃物の研磨

剥がれ具合が悪くなった刃物は
グラインダー等で刃先を研磨して下さい。
(図16参照)



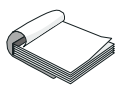
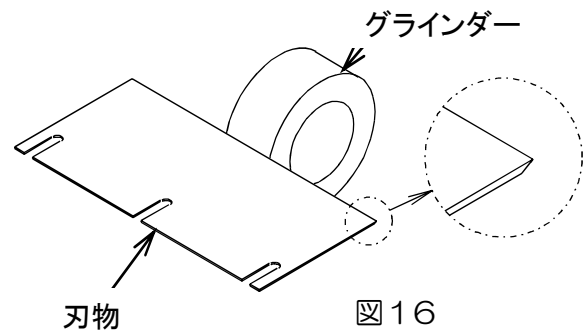
警告

研磨時は必ず保護メガネ等の
保護具を着用して下さい。



注意

刃物が短くなった場合は、早めに
新しい刃物と交換して下さい。



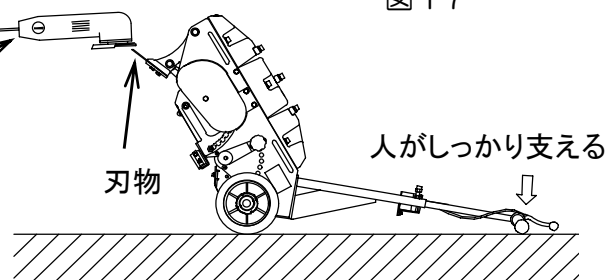
新しい刃物や、再研磨した予備の刃物がない場合は、刃物を本体に付けた
ままディスクグラインダーで研磨する事も可能です。(図17参照)
但し、作業の際はハンドルを人がしっかりと支えて固定して下さい。



警告

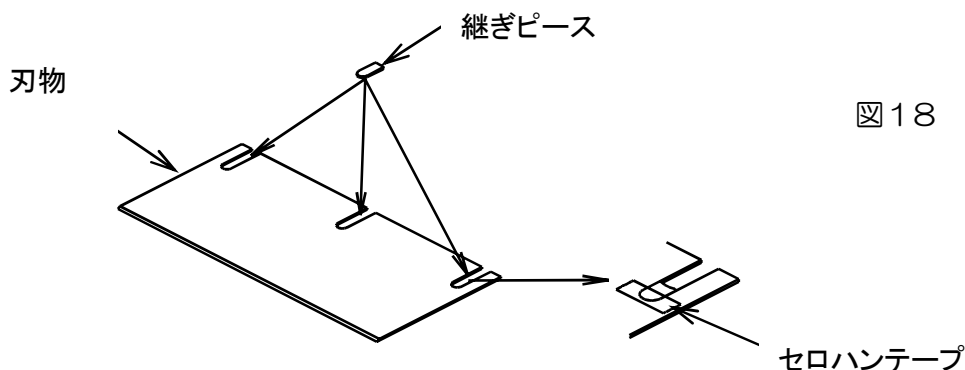
作業中は必ず電源をOFFにして
電源プラグを抜いて下さい。

ディスクグラインダー



継ぎピースのセット

刃先が磨耗して、短くなった刃物には、
継ぎピースをセロハンテープ等で刃物に固定して使用して下さい。
(図18参照)

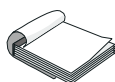


注意

継ぎピースを使用しても使えなくなった短い刃物は
新しい刃物に取り替えて下さい。

刃物用ベルトの調整と取り替え

- [1] ベルトカバーを外して下さい。
- [2] 付属のスパナでテンションボルトを緩め
適当なベルトの張り状態にして、
テンションボルトを締めして下さい。
(図19参照)



ベルトの張り具合は、ベルト中央を軽く押さえて5～10mmたわむ程度が適当です。

- [3] ベルトカバーを取り付けて下さい。



警告

作業中は必ずスイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。



注意

ベルトに損傷がある場合は新しい物に取り替え適当な張り具合にして下さい。

テンションボルト

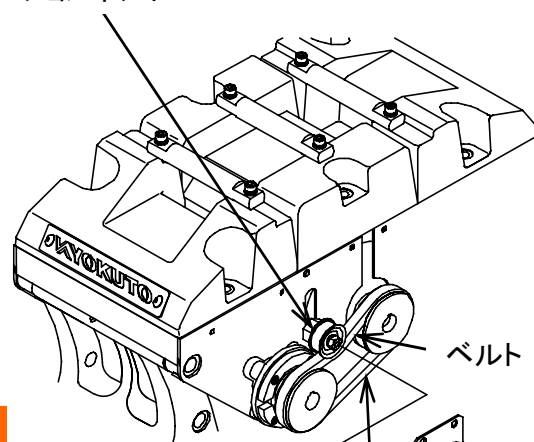


図19

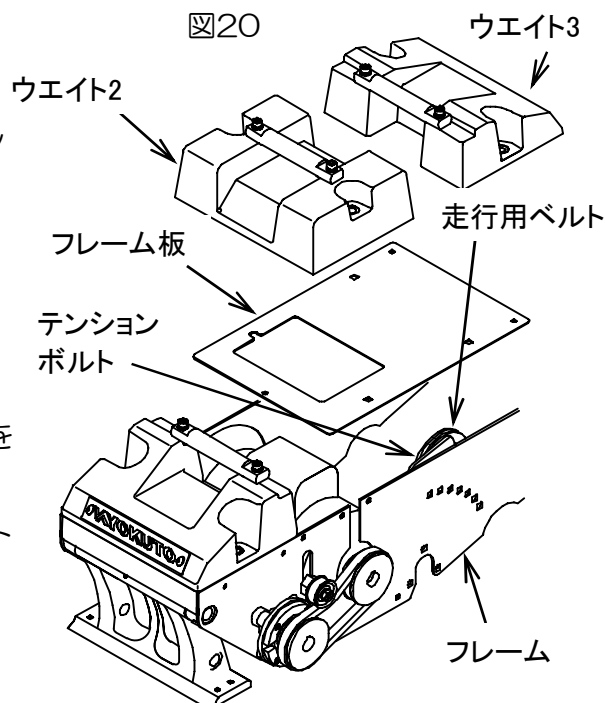
ベルトカバー

ベルト中央部

走行用ベルトの調整と取り替え

- [1] ウェイト2、3 及び
フレーム板を取り外して下さい。
- [2] 付属の六角レンチ(6mm)でテンションボルトを緩め走行用ベルトを緩みが無いように張りテンションボルトを緩まぬ様に締め直して下さい。
- [3] 走行用ベルトが切れている場合は、
刃物用ベルトカバーを外し
刃物用ベルトを取り外します。
- [4] モータープーリーから走行用ベルトを入れ、フレームの内側に通します。
- [5] テンションボルトを緩め走行用ベルトを掛けます。
- [6] 走行ベルトを緩まぬように張り直し
テンションボルトを締め直します。

図20



グリスの給脂

〔1〕 ウェイトを外し、グリスニップルに
グリスポンプで#0のグリスを給脂して下さい。
(図21参照)

〔2〕 ギヤ部分のカバーを取り外して、歯車
に#0のグリスを塗布して下さい。
(図22参照)

〔3〕 ウェイト、ギヤ部分のカバーを取り付けて下さい。



作業中は必ずスイッチをOFFにして
電源プラグを抜いて下さい。



作業前には必ず給脂して下さい。



油脂分を切らさない様に充分
注意して下さい。



#0以外のグリスを給脂
しないで下さい。

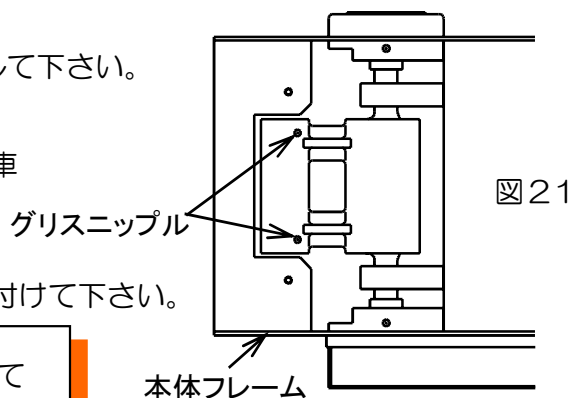


図21

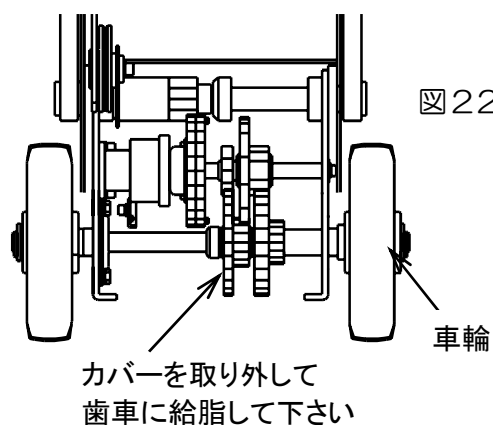


図22

クラッチ調節方法

クラッチレバーを握っても遊びが大きく
クラッチが切れにくい場合には、
下記の要領で調節して下さい。

〔1〕 クラッチレバーに付いているワイヤー調節ネジでクラッチが適切に切れる位置に調節します。
(ワイヤー調節ネジを右側に出すとクラッチレバーは締まり、左側に入ると緩みます。)
(図23参照)

〔2〕 上記の方法でまだクラッチの切れが悪い場合は、本体下部の走行車軸付近にあるワイヤー調節ネジで調節して下さい。
(図24参照)

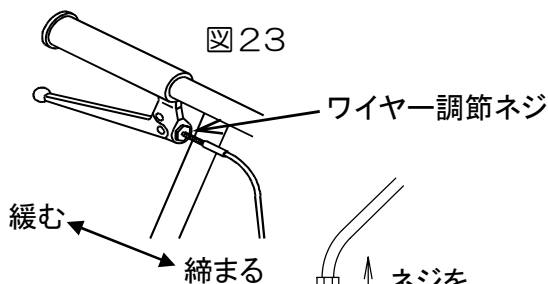


図23

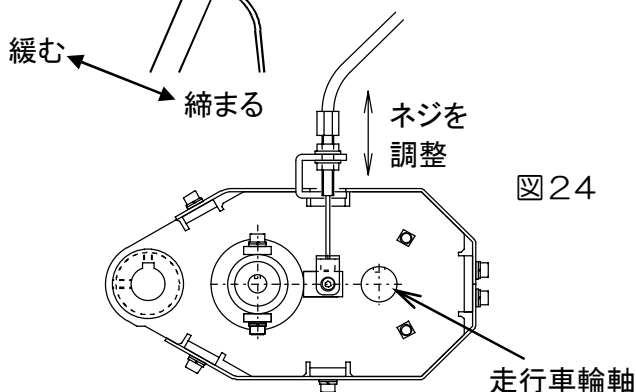


図24



ワイヤーは使用しているうちに伸びてくることがありますので、使用前に点検しておくことで作業中にクラッチが切れる等の故障を防ぐことができます。

過負荷遮断機構

本機には過負荷遮断機構がスイッチに内蔵されています。作業中に過負荷（定格電流12A以上）になると自動的に電流が切れますので、作業を再開されるには過負荷の原因を取り除きスイッチをONにして下さい。過負荷の原因を取り除いても度々過負荷遮断機構が働く場合は、遮断機構の設定値を変更して下さい。（図25、26参照）



- ・コードリールや延長コード等でケーブルを延長して電圧が低下している場合に過負荷遮断機構が働く場合があります。この場合にはケーブルの延長をやめ、本機の電源プラグを直接コンセントに差し込んで下さい。
- ・工事現場の電源電圧自体が低下している場合には、昇圧器（別売）を利用して電圧をAC100Vに昇圧した後にご使用下さい。

設定値の変更

- [1] スイッチがOFFになっている事を確認し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- [2] スイッチ押えの固定ネジを緩め、スイッチ押えを外して下さい。
- [3] スイッチカバー固定ネジを緩め、スイッチカバーを外して下さい。
- [4] スイッチ内部にある設定値変更ダイヤルをマイナスドライバーで回し、設定値を変更して下さい。
- [5] スイッチカバーを取り付け、スイッチ押えを取り付けて固定して下さい。

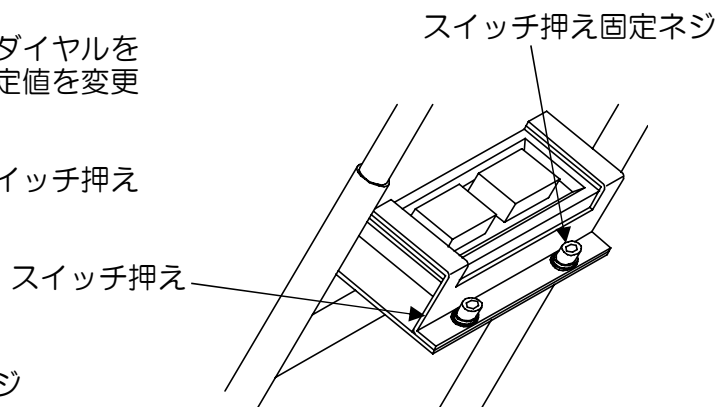
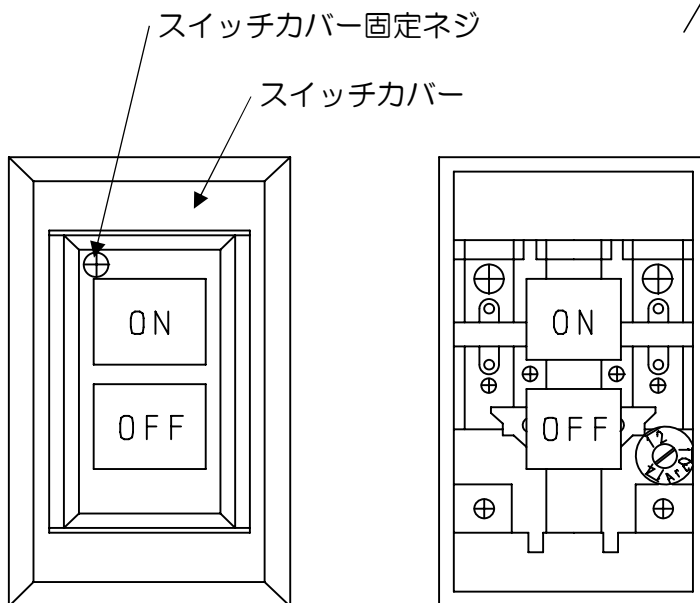


図25



スイッチ

スイッチ内部

設定値変更ダイヤル

図26

トラブルチェックリスト

刃物が動かない

確認項目	チェック	対処方法
電圧がAC200Vになっていませんか？		モーターやスイッチが焼けていないか確認して下さい。 焼けている場合、壊れている場合があります。 (要修理) 焼けていないことを確認されたらAC100Vの電源に接続して下さい。
電源スイッチが入っていますか？		電源スイッチをONにして下さい。
電源コードに損傷はありませんか？		断線の可能性があります。 (要修理)
コンセントに電気は来ていますか？		正常なAC100Vの電源に接続し直して下さい。
電圧が低くなっていますか？		低くなっていると、モーターの出力が低下します。 正常なAC100Vの電源に接続し直して下さい。
モーターは動きますか？		動かない場合は、モーターの故障、又は配線の断線か接続不良の可能性があります。 (要修理)
ベルトが緩んだり、切れたりしていませんか？		ベルトの調整 又は交換をして下さい
グリスは所定の番号のグリスが充分給脂されていますか？		#0のグリスを給脂して下さい。

トラブルチェックリスト

走行しない

確認項目	チェック	対処方法
電圧がAC200Vになっていませんか？		モーターやスイッチが焼けていないか確認して下さい。 焼けている場合、壊れている場合があります。 (要修理) モーターとスイッチに異常が無いことを確認されたらAC100Vの電源に接続して下さい。
電源スイッチが入っていますか？		電源スイッチをONにして下さい。
電源コードに損傷はありませんか？		電源コードを修理、又は交換して下さい。 (要修理)
コンセントに電気は来ていますか？		正常なAC100Vの電源に接続し直して下さい。
電圧が低くなっていませんか？		低くなっていると、モーターの出力が低下します。
クラッチレバーは動きますか？		クラッチワイヤーに損傷・断線がある場合はクラッチワイヤーを交換して下さい。 伸びがある場合はワイヤーの調整を行って下さい。
ベルトが緩んだり、切れたりしていませんか？		ベルトの調整 又は交換をして下さい。
グリスは所定の番号のグリスが充分給脂されていますか？		#0のグリスを給脂して下さい。

仕 様

製品コード	0 5 2 - 0 1 0 8 - 0 0
外形寸法	全長：9 0 5 mm(ハンドル収納時) 全高：7 2 0 mm(ハンドル収納時) 全幅：5 1 2 mm
質量	1 2 8 kg (ウエイト 4 1 kgを含む)
電源	A C 1 0 0 V
モーター	7 5 0 W全閉外扇モーター
刃先振動数	約 1, 9 5 0 m i n ⁻¹ 5 0 H z 約 2, 3 4 0 m i n ⁻¹ 6 0 H z
刃幅	2 7 0 mm(普通刃) 2 8 0 mm(シート刃) 1 5 0 mm(強力刃)
刃物入斜角	2 5 ° ~ 3 7 ° 7 段階調整
電源コード	断面積 2 mm ² (2sq) 線長 約 1 m (3 芯アース付きポンププラグ)
絶縁抵抗値	1 M Ω 以上

※製品仕様は改良等の為、予告無く変更する場合があります。

消 耗 品

品 名	品 番・図 番	個数	備 考
普通刃 270mm	21-6302	1	標準付属1枚
普通刃 305mm	21-6310	1	
シート刃 280mm	21-6308	1	標準付属1枚
シート刃 295mm	21-6311	1	
強力シート刃 150mm	21-6312	1	
強力刃 150mm	21-6309	1	標準付属1枚
走行車輪	J26-3281	2	
刃物用ベルト	OOGY10064	1	バンドーベルト Vベルト SA-22(レッド)

お問い合わせ先



インテリア機器の総合メーカー

極東産機株式会社

〒679-4195 兵庫県たつの市龍野町日飼190 TEL0791-62-1771
URL <http://www.kyokuto-sanki.co.jp/>

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-079177（土・日・祝日を除く 10:00～18:00）